



# 学校だより

2月号



みのたなくん

～豊かで調和のとれた子の育成～

[た]くましく生きる人 [な]かよく生きる人

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>

## ネット上の安全は、保護者の指導・見守りが第一！

校長 酒井 浩明

過日は、寒い中を早朝から「なわとび記録会」のご参観ありがとうございました。

さて、「よりよい学校づくりのアンケート」でいただいた中に、「スマホを持たせる家庭が多くなっています。自宅に遊びに来たときに写真を撮ってLINEなどにアップしたりするのを見てみると、友人の携帯を通して我が子の写真も拡散するんだなと怖くなりました。ネット社会の怖さを小学生の頃からもっと伝えて欲しい。(一部改変)」というものがありました。

皆様は、スマホ等の情報機器の取扱いの難しさや怖さをご存じですか。

私は原作本を読んだのですが、志駕晃さんが書かれた小説『スマホを落としたけなのに』宝島社文庫や、その映画化されたものは、保護者の方が実感できる材料になるのではないかと思ひ、PTA実行委員会でも紹介させていただきました。

本校では、ご存じのように平成20年度から、児童が携帯電話等を学校への持ち込むことを原則禁止し、保護者の動画や写真撮影の制限にもご協力いただいています。

また、1月16日の6年生の授業参観では、進学をきっかけとして、スマホ等を貸し与える保護者が増えることを視野に、SNS機能を利用した姿の見えない相手とのコミュニケーションの難しさや課題について考える授業を行いました。

授業後の子どもたちの振り返りには、

- ・写真を撮るときは、「誰かに送らないで。」などしっかりと伝える。
- ・家のルールを友達に伝えて協力してもらおう。
- ・スマホは便利だと思っていたけれど悪いところもたくさんあるとわかった。
- ・個人情報流出や事件に巻き込まれないように、アプリの使い方に気を付ける。

など、考えたことがすっかり書かれていました。

しかし、学校の授業だけで子どもをネット上の犯罪から守れるのでしょうか？我が子が加害者にならないと言えるのでしょうか？ネット依存の問題も・・・。



<給食場脇のスイセン>

スマホやタブレットなどの学習場面以外での利用は、友達の家、家庭生活等が中心です。

このため、保護者が難しさや怖さを実感した上で、子どもの話に惑わされずに、指導と見守りを続けていくことがもっとも大切です。

これを機会に、日頃から家庭の中で話題として、子どもの成長に合わせ、利用を制限したり、その都度必要な注意をしたり、利用内容を点検したりするルールをつくるなど、大人も含めた家庭の情報機器取扱いルールを見直してはいかがでしょうか。

※関連のパンフレットを学校HPに掲載

### <今後の本校での工事予定のお知らせ>

- ①第1校舎東側女子トイレ洋式便座取付工事
  - 各階3個ずつの洋式トイレになります。
  - ・2月下旬2・3階 ・4・5月3・4階
- ②東側南側のブロック塀改修工事
  - 高さ2m程度のフェンスになります。
  - ・2月～3月
- ③教室内石油ストーブの撤去
  - 教室内が少し広くなります。
  - ・3/26～27
- ④プール基礎の防錆他の長寿命化工事
  - ・4月～5月※運動会前に終了予定です。
- ⑤第1校舎西側トイレ全面改修工事
  - ・夏休み～9月